

2 平成13年度当初予算案のポイント

平成13年度当初予算案のポイントを総括すると、以下のとおり。

一般会計の予算規模

- ・一般会計の予算規模は、1兆855億72百万円、対前年度当初比0.9%の微増。(3年ぶりの増)
- ・予算規模が微増となったのは、投資的経費、一般行政経費は、「財政再建プラン」に基づき徹底した見直しを実施し、対前年度比減となったものの、公債費(8.4%増) 扶助費(8.4%増)等の義務的経費が、対前年度比で200億円、3.3%増と大幅な伸びとなったことが要因。

(単位：百万円、%)

区 分	H12	H13	前年度比
一般会計	1,075,573	1,085,572	100.9
特別会計	141,109	113,726	80.6
企業会計	87,462	89,938	102.8
計	1,304,144	1,289,236	98.9

* 特別会計減額の主な理由は、競輪事業特別会計、港湾事業特別会計の減による。
企業会計増額の主な理由は、水道事業、下水道事業の増による。

(参考) 予算伸び率の推移

(%)

区 分	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
県一般会計	5.4	3.6	7.8	2.7	3.2	4.8	1.9	4.1	0.1	0.9
国一般会計	2.7	0.2	1.0	2.9	5.8	3.0	0.4	5.4	3.8	2.7
うち一般歳出	4.5	3.1	2.3	3.1	2.4	1.5	1.3	5.3	2.6	1.2
地方財政計画	4.9	2.8	3.6 5.9	4.3 2.0	3.4	2.1	0.0	1.6	0.5	0.4

財政再建プランの推進

- ・「財政再建プラン」の見直しを行うとともに、これに基づき、歳入・歳出両面にわたる徹底した見直しを行い、約715億円の財源を確保。

県税収入

県税収入は、個人県民税が低迷する一方で、企業収益の回復に伴う法人2税の増収等により、3,249億円、対前年度当初比4.6%の増を見込む。

新世紀いばらき重点化枠の活用

- ・改定県計画を踏まえ、予算要求時に「新世紀いばらき重点化枠」として次の5つのテーマを新たに設定し、連携と協働によるいばらきづくりを推進する観点に立って、約7億円、52本の新規事業を予算化。

新たな時代を担う人づくり

少子・高齢社会対策

男女共同参画社会の形成

情報交流空間の創造

循環型社会づくり

景気・雇用対策への取り組み

- ・当面の景気・雇用対策への取り組みとして、国補公共事業を最大限確保するとともに、県単公共事業についても、生活に密着した県道や市町村道の渋滞箇所や交通危険箇所等を解消するための道路整備等に重点化を図るとともに、その規模についても所要額を確保。
- ・パワーアップ融資の新規融資枠の拡大（120億→160億）、中小企業向け各種IT関連施策の充実、雇用対策基金の活用等により、中小企業対策、雇用対策を強化。